

11月3日(水•祝)茨城•水戸市民球場



応援郑イド

GOLD'S GYM.







ついに実現!! 欽ちゃん球団戦!! 惜敗も全日本連覇の強豪相手に接戦 今後につながる大きな収穫を得る!!

欽ちゃんリーグ2010 熱戦プレイバック

2010年6月19日(土) @茨城・ひたちなか市民球場

GOLD 1-3 茨城 GG



GOLD	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
茨城GG	0	0	0	1	0	2	0	0	X	3

ゴールドジム ベースボールクラブ

 【投手】
 回
 打 安 振 球 責

 山口
 5
 23 4 1 3 1

 保條
 4
 13 2 1 5 2

2010年6月19日(土)、茨城・ひたちなか市民球場にて、欽ちゃんリーグ2010第3戦が行われ、我らがGOLD'SGYMベースボールクラブ(以下、ゴールドジム)が、欽ちゃんこと、萩本欽一監督率いる、茨城ゴールデンゴールズ(以下、茨城GG)と初対戦しました。

茨城 GG の先発は、巨人→ダイエー→ オリックスで活躍した、元プロの吉田修 司投手。一方、ゴールドジムの先発は、 下手投げの山口投手(金森会長チーム のエース。助っ人で参戦)。

両投手の好投で5回を終わって、1対0の投手戦となりました。

1点を追うゴールドジムは6回表、1番から始まる攻撃で、1死1、3塁とチャンスを作ると、ゴールドジム不動の4番、主砲・米倉選手が、得意の右打ちで右中間へ大きな打球! 抜けるかと思われた打球でしたが、ライトが見事ファインプレーでキャッチ! 犠牲フライとなり、1対1の同点に追いつきました。

6回裏、代わった保條が3死球と安打で2失点も、捕手・岡芹がセカンドランナーを矢のような早急で刺し、3アウトチェンジ!!

最終回、ゴールドジムは2死満塁と一 打逆点のチャンスを作りますが、あと一 歩及ばず。接戦の末、敗れました。

しかし、全日本クラブ野球選手権 2 連覇の強豪・茨城 GG を相手に大善戦。大きな収穫となりました。



▲6回表、犠牲フライを放った4番米倉。



▲6回から先発・山口に代わって登板したエース保條。



▲センター前にヒットを放つ岡芹。



▲センター前にヒットを放つ手塚。



▲レフト前にヒットを放つ重松。







▲最終回、代打でヒットを放つ山本。 ▲最終回、代打でヒットを放つ仁田。▲ファインプレーを魅せるレフトの新崎。▲主砲・出井は、怪我で途中交代。





▲好守備を魅せるセンターの重松。 ▲2 塁走者を牽制で刺す岡芹。





▲送りバントを決める三井。



▲送りバントを決める田原。







▲全ての要、上田兼コーチ。 ▲2 安打の助っ人、古木選手。 ▲女性対決で投手を務めた片岡選手。 ▲片岡選手と対戦した小川茜さん。











猛暑の中、雪辱狙う2度目の対戦 エース保條、8回3失点の好投 最終回粘りを見せるも、あと一歩及ばず

欽ちゃんリーグ2010 熱戦プレイバック

2010年8月14日@茨城・磯原地区公園野球場

GOLD 2-3 茨城 GG



GOLD	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
茨城GG	0	0	0	0	3	0	0	0	X	3

ゴールドジム ベースボールクラブ

1 (左) 山本 右フ — 遊ゴ — 一 一 六ゴ — 四球四フ 4 2 (二) 仁田 二ゴ — 一 四球 — 左フ — 四球 — 2 3 (一) 出井 二ゴ — 一 一 投ゴ — 四ゴ — 一 一 五 3 1 (一) 飛田 — 一 一 一 一 一 一 一 一 一 五 7 — 1 4 (右) 米倉 — 左フ — 遊ゴ — 一 四球 — 左フ 4 (右) 米倉 — 遊フ — 一 一 四球 — 左フ 4 (石) 米倉 — 正 三 一 一 世安 — 左安 — 一 一 中安 1 (DH) アレン — 一 一 一 一 中安 1 7 (遊) 三井 — 一 遊ゴ — 投E — 二ゴ — 中フ 3 8 (三) 上田 — 一 中安 —	0 0 0 0 0 0 0 2 1 0 2	点000000010012 得000000010002
--	---	--------------------------------

【投手】 回 打安振球責保條 72/3 308 1133小川 01/3 100000

2010 年 8 月 14 日 (土)、茨城・磯原 地区公園野球場にて、欽ちゃんこと萩 本欽一氏率いる『茨城ゴールデンゴー ルズ』(以下、茨城 GG) と 2 度目の対戦 を行いました。

茨城 GG の先発は、今年(2010年)の都市対抗野球・茨城1次予選で完全試合を達成した鈴木侑一投手。一方、ゴールドジムの先発はエース保條。4回まで、両投手の好投で無得点。前回のように投手戦となりました。

均衡が破れたのは5回裏。「投球が一本調子になった」という保條が、5 長短打を浴びて3失点。しかし、6回以降は、味方の好守もあり、6、7、8回と3イニング連続で3者凡退に抑え、欽ちゃんにも、「いいピッチャーだねぇ。」と言わしめたナイスピッチングでした。

2点を追うゴールドジムは最終回、1死1、3塁とチャンスを作ると、7番三井がセンターに犠牲フライを放ち1点を返して3対1と2点差。2死1塁で、8番上田は、逆らわずに上手くミート!!レフト前に運ぶクリーンヒットで2死1、2塁。ここで9番重松も逆らわずに上手くミート!!レフト前に運ぶタイムリーヒットで3対2と1点差に迫ります。なお、2死1、2塁と長打が出れば逆点というチャンスでしたが…、1番山本が、セカンド片岡安祐美選手へのフライでゲームセット。前回に続き、接戦に持ち込みましたが惜しくも敗れました。



▲2本のヒットを放った、6番 DH の手塚。



▲途中出場のアレン。最終回にヒットを放つ。



▲2本のヒットを放った、8番の上田。



▲最終回、犠牲フライを放つ三井。





▲再三、守備で好プレーを見せたショート三井(写真上)とセカンド仁田(写真下)。

◀4 回裏、茨城 GG の元プロ(中日→ロッテ →中日→楽天)、酒井忠晴選手の大きな当た りを下がりながら好捕したセンターの重松。 「これを捕られたんじゃな…」(欽ちゃん)。8 回裏にも全身を限界まで伸ばしてぎりぎりの 打球を見事にキャッチ。会場がどよめいた。







▲▲6月の初対戦に続き、"女性対決"が実現! 投手・小川茜(ゴールドジム/写真左)対打者・片岡 安祐美(茨城GG/写真右)の対戦は、いい当たり! …もショートゴロで、小川に軍配。「無事、あゆみちゃんに投げることができました」と満足そうな小川。試合後には、早速、サインも求められていました!

最終戦のみどころ

過去2戦いずれもあと一歩のところで追いつけず連敗しているゴールドジムとしては、最後のこの一戦に今年のすべてを賭けて臨みます。

勝敗のカギを握るのはなんと言っても投手力。今年一年安定した力を発揮し、一年前とは見違えるようなマウンドでの落ち着いた態度、ピンチにも動ぜず熱くなって自分を見失うことが無くなった絶対エース保條と、クラブ野球界一のサブマリン投手で公式戦ではほとんど無失点を誇る助っ人山口。(山口投手は弊社会長金森のチームに所属する選手)二人のすばらしいピッチングは実業団チームでさえ簡単には打たれぬ球威とキレのある変化球が持ち味。

この二人をうまくキャッチャー岡芹がリードすればそうたやすく失点は無いはずです。内外野の守備もこの一年たくさんの練習で向上しており、前試合のようなファインプレーが続くことを期待します。本格派保條とサブマリン山口二人の最高レベルのピッチングを是非じっくりとご覧下さい。

一方、攻撃陣に目をやれば、一にも二にも主砲米倉にどうつなげるかがカギです。ランナーをためて米倉につなぎ、そして出井がカバーする流れを、うまく作れば得点も増えるはずです。

さらに今回タイミングが合えば、強力な助っ人古木(元オリックス)も出場かも? 仮に出場できれば米倉の負担も軽くなり、前々戦のように長打のある二人で得点することも可能です。当日にならぬと出場するか否かがわかりませんが、見所の一つです。

また、レフトを競う山本と田原はどちらも必死です。今後のレギュラーとしての評価につながるだけに楽しみです。

そして、セカンド仁田は絶好調! GOLD'S GYMロゴの バットでヒットを打つか注目してください。

ショート三井は本来右打ちですが、この試合でスイッチヒッターにチャレンジするかも?見所の一つです。

バッティング好調のセンター重松とキャッチャー岡芹 は長打もあるだけに米倉、出井に並ぶポイントゲッター である、二人の流し打ちにも注目してください。

不動の5番出井はチーム1、2を争う長打力としなやかなバッティング技術でヒットを重ねるか楽しみです。

今年10月の『びわこ杯』で格(技術)の違いを見せた上田コーチ兼選手(元西武ライオンズ)の心にくいばかりのプロフェッショナルなプレーは、やはり野球のレベルが違います。見所満載です。バッティングにフィールディングに見せるプレーが続出と思われます。

DH手塚は、これが公式試合として最後のスタメン出場。心中機することあり、筋肉が切れても全力でプレーすることを誓っています。来季からはGOLD'S GYMでの川藤(元阪神タイガース、古い野球を知る人にはよく分かるが…)を目指すということなのでフル出場の見納めとなります。一度でも塁に出るのが本人の目標とのこと。

その他にも当日思わぬ所で出場する選手もいると思うので皆さんの熱い声援を力にしてフィールド・オブ・ドリームスを完結させたいところ。また、チアリーダーを中心とする応援団の盛り上がりも重要な見所の一つと思います。本日の応援、ありがとうございます。

ピッチャーズ情報



49 保條 芳彦



山口 幸彦 (金森会長チームの『エイデン愛エ大 OB BLITZ』所属)



15 吉田 創



17 伊藤 凌



13 坂手 桂太

バッターズ情報



48 山本 茂雄 長打もある一番バッター。 現役大学生GGメンバー



0 仁田 真彦 流し打ちうまく最近絶好調。 最近は引っ張っての強打も目立つ。



1 重松 大 足の速さはチームNo. 1、バッティング 技術も急速に向上。流し打ちでの長打も 魅力。もうすぐパパに!



41 米倉 拓也 チームーの長打力を誇り、そして チャンスに強い。さよならヒットを何度も達成。 新婚ホヤホヤ幸せパワー発揮か。



23 出井 一茂 しなやかな流し打ちと甘い球は 軽々とスタンドへ打ち込む最打力。 104kgの体重を乗せた時の打球は メジャー並み。



27 岡芹 隼 社会人になって自由にバッティン グを出来るようになり実力急上昇。 実は盗塁も多い現役大学生 (何回生?)



2 三井 悠嗣 左利きなのに右投、右打の不思議 な好選手。お客さんの多い試合で は守備もバツグン、バッティングも 好調。観客がいない試合では何故か…。



20 新崎 誠悟 初球のスイングで打てるか否かすぐ にわかるバッター。好調な時は 素晴らしいパンチ力のあるバッティングを 見せる。最初のスイングに注目!



8 古志 啓司 バントの名手、そしてバッティングも 長打を狙わぬ時はシェアでミートが うまい。活躍すると上半身脱いでの 古志ダンスが見れるかも。



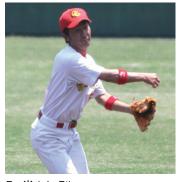
大振しない時は要注目選手。 コンパクトなスイングが魅力だが 大振りの時は皆さん大声でやじって 下さい。



12 アレン・アントニオ・恵 バッティングフォームはメジャー リーガーのようで打球も鋭く長 打力もバツグン。しかし…試合を 見てのお楽しみ!



9 杉山 僚 19歳、一番若く、現在猛練習中。 数年後のレギュラー目指し、頑張っ ている姿に注目。



5 常川 聡 小技のうまさはチームー。怪我の多さも チームー。技術はうまいのに体力不足で 損をしている名門横浜高校出身の

マルチプレイヤー。



22 手塚 栄司 目も足も衰えの隠せぬ49歳と半年。 しかし腕力はまだ衰えておらず、 注目は上半身だけのバッティング。

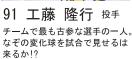
果たして打てるか!



57 上田 浩明



軽く打ってヒット、そして塁に出ればピッチャーへの プレッシャ一強く、実は上田Cが活躍するしないで チームの勝敗が大きく左右する。GG勝利のバロ メーター。今日の試合でのプレイ全てに注目。





欽ちゃんリーグついに最終戦!! 白熱の戦いは最終回にドラマ 3600人の観衆、大いに沸く

欽ちゃんリーグ2010 熱戦プレイバック

2010年11月3日(水·祝)@茨城·水戸市民球場/観衆3600人

GOLD 3-3 茨城 GG



GOLD	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
茨城GG	0	0	0	0	0	_	0	0	2	3



▲GOLD'S GYM先発は、クラブチーム№1サブマリンの山口投手。7回を無四球、被安打3、奪三振4、失点の1の好投を見せた。



▲2回、先頭打者で2塁打を放つ4番の米倉選手。



▲3回、8番岡芹が四球で出塁後、ライト前にヒットを放つ9番の上田選手兼コーチ。



▲4回、1死1塁から、センター前にヒットを放つ5番の重松選手。



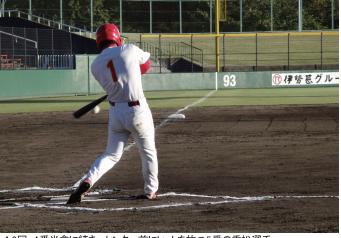
▲5回表、イニングの前にインタビューを受ける手塚選手兼監督。



6回表、4安打を集中し3点先制!!



▲6回、先頭打者で、センター前にヒットを放つ4番米倉選手。



▲6回、4番米倉に続き、センター前にヒットを放つ5番の重松選手。



▲6回、ライトへのタイムリーヒットを放つ9番の上田選手兼コーチ。



▲6回、センターへのタイムリーヒットを放つ1番の山本選手。





▲7回、バットを折りながら、ライト前ヒットを放つ4番の米倉選手。



▲8回、センターオーバーのツーベースヒットを放つ8番の岡芹選手。



▲9回、公式戦初の左打席?でライト前ヒットを放つ代打の三井選手。



▲9回裏、土壇場で同点に追いつき、大喜びの茨城GG。

